

議会報告会・意見交換会報告書

開催日時	令和5年7月31日（月）午後6時54分 終了：午後8時5分	
開催場所	御手洗公民館	
対象団体	北消防団北星分団	
参加人数	11人	
班構成	A班	山本佳裕、原卓二、池元勝、大屋潤一、石地宜一 岡本克行、西川寿夫
役割分担	挨拶：大屋潤一、司会：池元勝	

意見交換会（A班 西川、石地、山本）

○分団員不足について

（意見1）

そもそも「分団とは何か」という分団そのものに対する理解が町内の住民に浸透していない。定員25名に対し現在19名だが、全員が参加できる状態でもないので、分団員数を増やすことが喫緊の課題である。会社の理解も必要だ。

（意見2）

町内会長は1年で交代してしまうところが多く、そんな中で分団員の確保まで考えていないのではないか。

（意見3）

町内に自衛消防組織があるところもあり、消火栓などを利用して町内や地区で消防の訓練を行うことにより、消防に関する理解が深まるのではないかと。

○消防団員の資格について

（意見）

条例や規約をチェックした上で、市内在住や勤務先などの要件を拡大してもいいのではないかと。

○全国消防団員応援の店

（意見）

白山市は少ない気がする。分団員としての利点も示すべきだ。

（答 弁）

現状と今後のことについて、市や広域消防に聞いていきたい。

○学校のプールの水利について

（意見）

いざまさかのときは、水利として使えるのか。

（答 弁）

使えるのか使えないのかを確認するべきだと思う。古いプールがあるところは、フェンスを越えないといけないところもあり、改修が必要なのであればお願いしていく。

○その他

出勤命令はメールで来るが、二次的情報は分団長からラインを使って示しており、出勤命令もラインを利用できないか。

(答 弁)

スムーズな伝達方法について研究する必要がある。

意見交換会 (B班 岡本、大屋、原)

○分団員不足について

(意見 1)

分団員の活動内容が知られていない。

(意見 2)

各町会の割り当て人数が守られていなく、退職分団員の後任確保が難しい。

○消防団員の資格について

(意見)

資格条件(在住地域や勤務先)について、もう少し柔軟に運用ができればいいのではないか。

○全国消防団員応援の店

(意見)

応援の店が少ないほか、特典が使えるのか使えないのかがよく分からない。

(答 弁)

制度としてはあるようなので、市民に周知することも必要であり、応援店を増やしていくことも、なり手不足解消の一助になると思うので、再度確認していきたい。

○学校のプールの水利について

(意見)

フェンスがあり、届かない。緊急時はフェンスが外せるような対応策も必要なのではないか。

備 考	
-----	--